

『統合報告書』入門

～統合報告書を「これから始める」、「磨きをかける」ための入門講座～

《開催要領》

- 日 時● 2016年12月16日(金) 13:00～17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師 キュー・エム・コンサルティング 取締役社長 公認会計士 松原恭司郎 氏

国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル、そしてERP関連のコンサルティング業務に従事。情報処理システム監査技術者。SBI大学院大学客員教授、東北福祉大学兼任講師。元 中央大学大学院特任教授。主な著書に『図解「統合報告」の読み方・作り方』(2014)中央経済社、『松原流:戦略マップ/BSC実践教本』(2010)、『ビジネスモデル・マップing教本』(2013)、『ROE重視のKPIマネジメント教本』(2016) 日刊工業新聞社などがある。



《ご参加いただきたい方》

統合報告書の作成を新たに検討、または改良を検討している企業のIR部門、CSR部門、環境報告書担当部門、経理部門など関連部門のご担当者

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX:03-5215-0951

*申込書をご送付いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

161275-0101 『統合報告書』入門			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 職	
E-mail			

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

『統合報告書』入門

12/16
(金)

13:00

■開催にあたって■

国際統合報告評議会(IIRC)による「国際統合報告フレームワーク」公表(2013年12月)から既に3年近くが経過し、昨年は200社近い日本企業が統合報告書を発行しているとされています。2015年6月の「コーポレートガバナンス・コード」の導入を受けて、今年は統合報告書の発行企業も増加することが予想されます。

そこで、統合報告書の作成を新たに検討、または改良を検討している企業のIR担当他の方々を対象とした体系的で実践的な入門セミナーを開催致します。

1. 統合報告書に求められる要件とは

- ～統合報告の最も重要な参考フレームワークである国際統合報告評議会の「国際統合報告フレームワーク」でポイントを掴む
- (1) 国際統合報告評議会(IIRC)の活動と成果物他
- (2) 「国際統合報告フレームワーク」の構成と内容

2. 統合報告書が「投資家との対話」を促進させる

- ～「コーポレートガバナンス・コード」他と統合報告の関係を確認する
- (1) 「コーポレートガバナンス・コード」他の概要と特徴
- (2) 「コーポレートガバナンス・コード」他と統合報告書の関係

3. 先進企業の統合報告書事例に学ぶ

- ～統合報告書関連の表彰制度の受賞企業など国内外の統合報告書の先進事例などから学ぶ
- (1) 先進企業の統合報告書の内容を分析する

4. 統合報告書の作成上の重要テーマの確認と対応

- ～作成上の重要なテーマを棚卸しし、対応を検討する
- (1) 国内外の調査報告等に見る統合報告書作成上の重要テーマ(ビジネスモデル開示、KPI、結合性など)
- (2) 重要テーマに係る対応と「国際統合報告フレームワーク」の関係箇所の解説

※最新情報を盛り込むため、プログラムの構成等は変更になる場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

17:00

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで2種類のセミナーをご案内しております。